孤影も辞せぬ若人の 若芽の出づる早春に

漲る大志の息吹有り 尖風躰を 貫けば

凱風四界を覆へども 禁華の闇部忘るまじ 禁華の闇部忘るまじ がいますいない。 がいますいない。 だいますいない。 がいますいない。 でいますい。 でいままじい。 でいますい。 でいまりい。 でいますい。 でいますい。 でいますい。 でいますい。 でいますい。 でいますい。 でいますい。 でいまりい。 でいまりい。

鬼哭の嘆きは芯を凍て

落葉瓢の様を見む 真理の迪を一筋にまると、みち、ひとすじ 疾風怒濤の世なればこそしっぷうどとう 紅葉吠ゆる秋の窓

心膽練磨の時節かない。 氷雪猛る厳冬は

烈風大地を劈けど 揺るがぬ我らがこの宿居